



“ブラームスの  
世界への誘い”

～ヴァイオリンソナタ全3曲～

Program

ブラームス  
ヴァイオリン・ソナタ

1. 第1番ト長調 作品78
2. 第2番イ長調 作品100
3. 第3番二短調 作品108



小林 美樹  
ヴァイオリンリサイタル

Piano 小林有沙

2021 6.9 Wed

東京文化会館小ホール

JR上野駅:公園口前

〈開演〉19:00 〈開場〉18:15

入場料〈全席自由席〉

前売券／一般:4,000円 ペア:6,000円 学生:2,000円

当日券／ 4,500円

チケット取扱い

イープラス <http://eplus.jp> (直接購入) 全国ファミリーマート「Famiポート」

東京文化会館チケットサービス Tel. 03-5685-0650

<https://www.t-bunka.jp/>

後援:公益財団法人・ロームミュージックファンデーション  
日本ブラームス協会・桐朋学園音楽部同窓会  
公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団  
NPO法人癒しの医療を考える会

主催:問い合わせ アルペンミュージックオフィス

TEL: 03-5324-2513

<http://www.alpenmusic.com/> / <mailto:salz2010km@yahoo.co.jp>

# 小林 美樹

ヴァイオリンリサイタル

Piano 小林有沙

ブラームスの世界への誘い



小林 美樹 : ヴァイオリン

Miki Kobayashi

幼少時から数々の国内音楽コンクールで優勝し、16歳でレオポルド・モーツァルト国際ヴァイオリンコンクールにてギドン・クレーメル氏より審査委員特別賞を受賞した。2011年には5年に一度ポーランドで行われ、難関で知られた第14回ヴェニシアフスキー国際ヴァイオリンコンクールにて第2位を受賞して以来、その美音と確固たるテクニックにもとづく大きな演奏で常に注目を集めてきた。これまでに、NHK交響楽団・読響・都響・日フィルなど多くの国内主要オーケストラと共演する他、マキシム・ヴェンゲーロフ氏の指揮や彼から推薦を受けたポーランド主要オーケストラとも共演している。これまでに「題名のない音楽会」「ららクラシック」など、たびたび出演し多くのファンを獲得している。2016年のトヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーンではソリストに抜擢され国内4都市でのツアーではウィーンフィルコンサートマスター、シュタイデ氏と共演し絶賛を博した。紀尾井ホール・王子ホールほか各地でのリサイタルや、宮崎国際音楽祭・鎌倉芸術館ソリステン等においては室内楽にも精力的な活動を展開している。2014年第24回出光音楽賞を受賞するとともにこれまでに「レコード芸術」誌の特選盤・推薦盤を含む4枚のCDをリリースした。桐朋学園ソリストディプロマコースに特待生として入学後、明治安田クオリティオブライフ及びロームミュージックファンデーションから全額奨学金を得てウィーン私立音大で学んだ。これまでに徳永二男氏・パヴェル・ヴェルニコフ氏から多くの薫陶を受けたほか室内楽は東京クアルテット、毛利伯朗・岩崎洸の各氏から学んでいる。



小林 有沙 : ピアノ

Ariwa Kobayashi

桐朋女子高等学校音楽科を経て同大学に進学したのち、ロームミュージックファンデーションより奨学金を得てベルリン芸術大学へ入学。2010年同大学を優秀な成績で卒業。その後ウィーン国立音楽大学ポストグラデュエートコースにてさらに研鑽を積み、2013年活動の拠点を日本に移す。

在学中、モロッコ王妃国際ピアノコンクールにて、審査員満場一致で優勝し、併せて最優秀ドビュッシー演奏家賞を受賞した。その他に第1回クールシュベール音楽祭inともべ優秀音楽賞、ルーマニア国際音楽コンクール第3位、ウィーン・ディヒラー音楽コンクール第2位など数々の国際コンクールで入賞。これまでに、指揮者山田和樹氏、飯森範親氏らとコンチェルトを共演する他、銀座王子ホール、ヤマハホールなどでのソリサイタルも行っている。室内楽においても共演ピアニストとして高く評価され、ニューヨークフィル首席奏者、ウィーンフィルのシュタイデカルテットとの室内楽演奏会にも数多く出演し高い評価を得ている。

これまでに岡本美智子、有森博、伊藤恵、横山幸雄、Pascal DEVOYON、Jan Gottlieb JIRACEKの各氏に師事し、室内楽を野平一郎氏に学ぶ。レコード芸術誌において準特選盤含む3枚のCDをリリースする他、2018年より昭和音楽大学にて非常勤講師をつとめ、後進の指導にも積極的に取り組んでいる。

日本ショパン協会正会員、日本ピアノ教育連盟会員。

©Yoshinori Kurosawa